

本校の授業 その13

2年 国語 遠藤 史博

【単元】 詩「鍵」

【課題】 自分の経験やエピソードと結びつけて読む

＜単元計画 4時間扱いの3時間目の授業＞

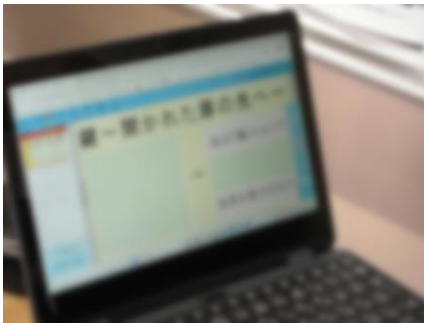
- (1) 詩を音読して、印象に残った語句や表現を話し合う
- (2) 作者にとっての「鍵」はどのようなものなのか、表現の意味を考える
- (3) 自分は、「鍵」によってどのような世界を見つめたいかを考え、表現する

＜本時の授業＞

- (1) 前時の振り返り
 - ・筆者にとっての「鍵」は、「きっかけ」や「ヒント」など日常生活における謎や秘密を解き明かすものである。
- (2) 課題「自分は「鍵」によってどのような世界を見つめたいかを表現してみよう」
 - ・本時の課題を確認する
- (3) 詩の解釈とともに自分の考えを表現する



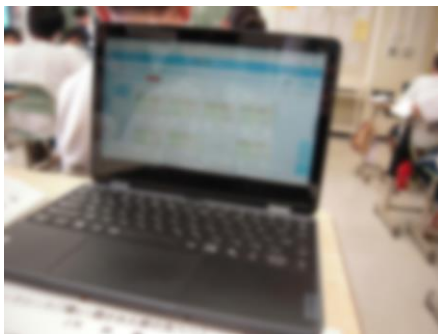
①



③



②



- ①フォーマットをもとに自分の考えを探っていく
- ②③で他者を参照しながら、自分の考えをさらに吟味していく

＜生徒たちが考えた世界＞は下記のとおり

- ・人に優しく平等に接して否定しない世界
- ・「緊張」を味方につける世界
- ・自分自身を見つけられる世界
- ・前向きで楽しい世界
- ・失敗を成功にする世界
- ・いつでも笑っていられる世界
- ・より一人一人が個性を持った世界
- ・何もかも上手にできる世界
- ・努力することが当たり前の世界

＜指導者の工夫＞

- ・他者を参照することにより、自分の表現を見つめ直し、主体的に課題と向き合えるようにした。
- ・タブレットにおいて発表ノートを利用し、「鍵」という抽象的なテーマを生徒の実態（日常生活）により近いエピソードから自分の理想とする「世界」に向き合わせた。